

## 平成20年度 TA 活動報告書

TA	1 回生	教科教育専攻	美術教育専修
TA 採用教員名	稲次 保夫		
TA 採用授業科目名	美術理論・美術史演習		
採用延べ時間数	26 時間		

### 【TA 活用内容】

TA は、「美術理論・美術史演習」（前期・4 回生対象）の授業において、授業の展開・進行に関して担当教員を補助するとともに、受講者一人一人に対してその関心や問題意識に応じた助言を行った。

### 【TA 活用による教育的効果】

授業は、美術理論・美術史に関する諸問題についての演習であり、受講者一人一人の関心や問題意識に即して進められる。受講者の関心はさまざまであり、授業では多角的な視点からの指導・助言が必要となる。昨年度までは、担当教員による指導・助言だけだったが、今回は、そこに TA による助言やコメントが加わることによって、受講者各人の視野や関心に多少とも広がりが生じたように思われる。

なお、TA は卒論でアニメーションについて研究した者であった。TA の存在は、受講者に映像メディア表現の分野にも関心を向けさせることになったようで、受講者の中には同分野について発表する者もあった。また TA と受講者とが、作品分析の方法や資料の扱い方について、授業後に意見を交換していることもあった。

以上のように、TA の存在が受講者の勉学意欲を促すことになっただけでなく、受講者との意見交換は TA 自身にとっても有益だったと思われる。

### 【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

改善点を TA に聴取したところ、受講者が当日発表するテーマが予め分かっておれば資料を準備したりするのに都合がよい、とのことだった。受講者と TA との議論をより活発にするためにも必要なことかと思う。